

第2回古賀市環境審議会生物多様性専門部会 協議内容

議題等	主な意見等	対応等
II. 古賀の将来を描く		
2. 戦略がめざしていく 古賀の将来	<ul style="list-style-type: none"> “戦略がめざしていく古賀の将来” は、日本語として表現がおかしいのではないかと。 環境基本計画では、「人と自然」という表現があるので、環境基本計画の下位計画である生物多様性地域戦略では、「生きもの」という表現を使用した方がいのように感じる。 「共に生きる」という表現は、希少生物もハクビシンなどの害獣もコントロールしながら共に生きていかなければならないという今の時代にも合っているように感じる。 山間部の景観の保全というのは、生物多様性の面からも重要だが、特に子どもたちの体験として非常に重要だろう。自然と接した子どもは倫理観が高くなるとも言われている。 高校生の描く将来像も候補に含めてもう少し整理し、市民、これまで関わってきている高校生、古賀の将来を考えてほしい人たちなどに選んでもらってはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> “古賀の将来像” に修正。 「豊かな自然と共に育つ」「変わらないまち」「共に生きる」など、本日いただいたキーワードも含めて整理し、高校生の投票などによる意見の反映などを検討していきたい。
III. 古賀の戦略を立てる	<ul style="list-style-type: none"> 施策については、色々な項目に関連しており、きっちり仕分けることは難しいだろう。 様々な施策が相互にリンクし合うような意味合いの表現が入るといいかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> SDGs との関連性を記載することで、様々な取組が相互に関わり合っていることを示していくことを検討。(第3回部会内でご意見をいただく。)
Action 1. 生物多様性を知る	<ul style="list-style-type: none"> “自然からの恵み(生態系サービス)”を受けているということを、どこかに記載できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> コラムという方法で記載する方がいいのかもしれない。 ※事務局案「I. 古賀を知る・感じる・考える」に記載済み。
3. 調査分析・情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 情報は“提供”や“発信”という表現の方がよいだろう。 「共有」という表現を残すとすれば、施策の中に、生きものマップの作成、WEBサイトの構築など、情報の共有化の取組があった方がいいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> “情報提供”へ修正。
Action 2. 生物多様性を守る	<ul style="list-style-type: none"> 「1. 生息・生育環境の保全・再生」や「2. 野生生物への対応」の部分に希少種の保全について含まれるといいだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> 「1. 生息・生育環境の保全・再生」の施策として追加。
	<ul style="list-style-type: none"> 希少生物も含めて保全する施策を方向性の一つ目にし、被害を及ぼす生物(外来種・害獣)への対策を方向性の二つ目にするという整理にしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見のとおり整理。

議題等	主な意見等	対応等
Ⅲ. 古賀の戦略を立てる		
Action 2. 生物多様性を守る		
2. 野生生物への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・外来生物への対策については、対応というよりは管理をしていくことが重要視されてきているので、そういった表現の方がいいのではないかと。 ・害獣も含む「野生生物との付き合い方」という表現にも違和感がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトルを“外来種への対策と野生鳥獣による被害の防止”とし、施策を整理。
3. 環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちが生物多様性に影響を与えそうな負荷についてももう少し具体的に記載するといいいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コラムという方法で記載する方がいいのかもしれない。 ※事務局案「Ⅰ. 古賀を知る・感じる・考える」に記載済み。
4. 文化的資産の継承	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化的資産」という表現ではなく、「地域資産」という表現をして、古賀特有の資産を守っていくという意味を持たせてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・“地域資産の継承”へ修正。
Action 3. 生物多様性を活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・「生物多様性を活かす」という表現は、持続可能な利用という意味合いで使用されているものだと考える。 ・「守る」かつ「利用する」という視点で、内容的にはこれでもよいと思うが、「将来にわたって活かす」など、タイトルはもっと伝わりやすい表現にした方がいいかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生物多様性を活かす」という表現のまま、分かりやすい内容となるよう、取組内容を整理。
2. 環境に配慮した消費行動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「消費者行動」という部分に違和感がある。「環境の視点に立った消費行動」というと、かなり幅広い内容となるようにも思う。 ・「環境に配慮した」という表現に違和感があるのかもしれない。「環境を活かした消費行動」など、あえて「活かす」という表現を使用し、地域の生態系の恵みを活かした消費行動を推進していくという整理をしてはどうか。 ・「活かす」は常用漢字ではないので、公文書で使えないだろう。ふりがなをふる、「生かす」を使用するなどの対応が必要かもしれないので、担当部署へ相談してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然を活かしたライフスタイルの推進」と統合し、施策を整理。
3. 魅力ある地域づくりへの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・古賀市の郷土料理の“鶏すき”や“らぶ”は、施策のひとつとしてもいいだろう。 ・“らぶ”がどんな料理かはコラムで説明したらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コラムとして記載。
Action 4. 人をつなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・将来像を表現できるようなタイトル、「人と自然」などのキーワードを入れたタイトルにしてはどうか。 ・内容的には、Action1～3を通して「人をつなぐ」ものになっているように感じる。「人をつなぐ」だけではなく、「知る」「守る」「活かす」の一文字ずつをとって「知・守・活で人をつなぐ」など、Action1～3を通してつないでいるというイメージができるようなものとなればよいと思う。 ・古賀市では、環境基本計画等でも「環」という表現を多用しているので、「環を広げる」など、「環」という表現を使用した方がいいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・“環を広げる”へ修正。